



米国食肉輸出連合会

報道関係各位

2005年12月12日

「アメリカン・ビーフ輸入再開に当たって」

米国食肉輸出連合会(USMEF) 会長 兼 CEO  
フィリップ・M・セング

米国食肉輸出連合会(USMEF、本部:コロラド州デンバー、<http://www.americanmeat.jp>)の会長兼 CEOフィリップ・M・セングは12日、日本政府のアメリカン・ビーフ輸入再開の発表を受け、以下のよう  
にコメントいたしました。

\* \* \*

アメリカン・ビーフを再び日本に輸出できることを、我々は大変喜ばしく思います。輸入禁止が続いたこの間、我々にとって試練の時期でしたが、それ以上に、過去30年にわたり、アメリカン・ビーフをご愛顧頂いた業界の方々にとっても困難な期間でした。

日本政府は、食品安全委員会、農林水産省、厚生労働省を通じて、アメリカン・ビーフの徹底的な検証を行い、一定の条件の下では安全に問題はないとの結論に達しました。本日の日本政府の輸入再開に関する発表は、日本の消費者の皆さまが、我々の商品を安心して召し上がっていただけるということの意味していると考えております。

米国政府および業界は、脳や脊髄などの特定危険部位を、米国で生産される食肉から、完全に除去する方針を打ち出し、その確認作業にも徹底を図っています。また、すべての生産者は、両国政府で同意された輸出証明書(EV)取得に必要な条件を満たさなければ、製品を日本に輸出することはできません。これらの措置に加えて、生後20ヶ月以下の牛しか供給しないとの条件は、すべて米国政府が厳しく監査し、遵守します。

今回の輸出再開により、日本の消費者の皆様安心してお召し上がりいただけるよう、米国食肉業界が一丸となり努力して参る所存でおります。今後ともアメリカン・ビーフをよろしく願いいたします。

本件に関するお問い合わせ先：  
米国食肉輸出連合会(USMEF)  
電 話：03-3584-3911  
ファクス：03-3587-0078